

フクビ化学

取組内容詳細 及び 現地調査状況

1. 紙ごみの削減・再資源化の推進

- ・社内資料や会議資料のペーパーレス化
- ・OA用紙などの裏面を印刷に再利用
- ・OA用紙などの紙ごみをリサイクル業者へ引き渡し
- ・書類をスキャンし、電子化して保存
- ・ペーパーレスプロジェクトの継続活動を通して、社内で印刷量等の報告書を共有し、紙の使用量の削減を推進

2. 生ごみの削減・再資源化の推進

- ・社内で発生する生ごみは水気を切ってから出している



3. 事業所ごみの再使用、再資源化の推進

- ・ごみ分別表を排出場所や回収容器等に掲示し、従業員等へ啓発
- ・飲料容器（びん・缶・ペットボトル等）ごとの回収箱を設置し、個別に回収
- ・事業所内で使われていない備品・消耗品を他の部署などで再使用できる仕組みづくり



4. 使い捨て用品の使用自粛

- ・社内便に繰り返し利用できるコンテナを使用

5. 梱包の削減・簡素化

- ・商品の簡易包装化
- ・リサイクルできる梱包材や包装材の使用

6. オフィス内の分別回収の実施

- ・使用済み製品や資源物（缶、びん、ペットボトル、プラ容器包装等）、充電式電池、インクカートリッジなどを分別回収



7. オフィス内でのごみ削減・再資源化啓発

- ・ごみ削減やリサイクル推進のための職場のルール作成
- ・ごみ削減やリサイクル推進に関する担当者の配置
- ・従業員に対し、ごみ削減等の助言・指導を実施



8. オフィス外へのごみ削減等活動PRの実施

- ・消費者に対し、自社ホームページなどで、ごみ削減等活動をPR
- ・ごみ排出量等に関する情報を社外へ公開
- ・環境配慮製品開発のPR



NEWS RELEASE

FUKUKI
2023年5月9日

新製品開発のA2コアフロアEPD取得

グリーンOAフロア「TN-100」「TN-30」EPD取得

フクキ工業は、オフィス環境の改善や環境負荷の低減を図るため、グリーンOAフロア「TN-100」「TN-30」のEPD取得を完了しました。EPD取得は、製品のライフサイクル全体における環境負荷を定量的に評価し、公表することによって、消費者や取引先への情報提供を行うことです。

※新製品開発のA2コアフロアEPD取得
近年、建築物の環境性能の向上が求められ、各国の2050年のカーボンニュートラルに向けた動きが活発化しています。その一環として、建築物の環境性能を定量的に評価し、公表することによって、消費者や取引先への情報提供を行うことが求められています。また、2022年4月には「グリーンOAフロア」の環境性能を定量的に評価し、公表することによって、消費者や取引先への情報提供を行うことが求められています。グリーンOAフロア「TN-100」「TN-30」のEPD取得は、この取り組みの一環として行われました。

※グリーンOAフロア「TN-100」「TN-30」のEPD取得
グリーンOAフロア「TN-100」「TN-30」は、環境性能の向上を図るため、A2コアフロアを採用しています。A2コアフロアは、環境性能の向上を図るため、A2コアフロアを採用しています。A2コアフロアは、環境性能の向上を図るため、A2コアフロアを採用しています。

※A2コアフロア「TN-100」「TN-30」のEPD取得
A2コアフロア「TN-100」「TN-30」は、環境性能の向上を図るため、A2コアフロアを採用しています。A2コアフロアは、環境性能の向上を図るため、A2コアフロアを採用しています。A2コアフロアは、環境性能の向上を図るため、A2コアフロアを採用しています。

※A2コアフロア「TN-100」「TN-30」のEPD取得
A2コアフロア「TN-100」「TN-30」は、環境性能の向上を図るため、A2コアフロアを採用しています。A2コアフロアは、環境性能の向上を図るため、A2コアフロアを採用しています。A2コアフロアは、環境性能の向上を図るため、A2コアフロアを採用しています。

9. オフィス内のごみ発生量等の把握

- ・年度ごとに発生するごみ量等を集計
- ・ペーパーレスプロジェクトの継続活動を通して、社内で印刷量等の報告書を共有

- ・LED照明、高効率機器の導入
- ・社用車への低公害車・電気自動車、ハイブリット車の導入
- ・デマンド監視装置の導入

- ・エコマーク製品やグリーンマーク製品、グリーン購入法に基づく文具・事務用品等を購入
- ・再資源化の容易化・長寿命化・小型化などの環境に配慮した製品づくり
- ・環境に配慮した商品を優先的に入荷・販売

- ・環境ISOに基づいた環境改善活動の取り組みを一般の方へ公開
- ・社員による本社、工場周りの清掃活動を実施（年2回）
- ・麻生津地区の資源ごみ回収会場として駐車場を貸与（年2回）

- ・県内で出た間伐材を活用した製品開発
- ・環境への取組について、ホームページで公開。
- ・SDGs宣言を行い、進捗状況をホームページで公開。

※グループ各社において、それぞれの環境に応じたKPIを設定。